

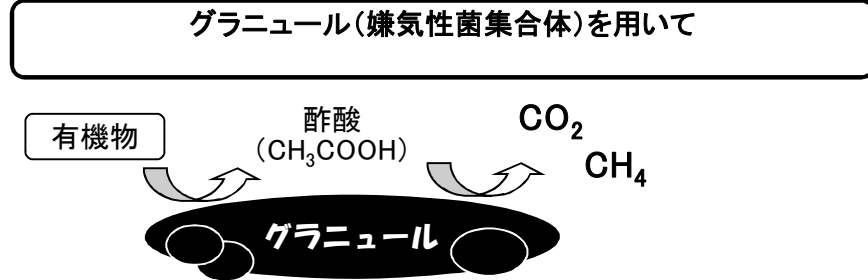


日華の嫌気性菌処理技術

グラニュールを用いた、高負荷排水処理技術(N-UASB=西原社の技術)のご紹介

※N-UASB: Neo Upflow Anaerobic Sludge Bedの略。上向流嫌気性汚泥床。

嫌気性菌
処理技術って？



嫌気性菌の働きにより、有機物を最終的に二酸化炭素とメタンガスに分解します。
嫌気処理ですので酸素が不要であり、曝気にかかるエネルギーがまったくありません。
発生するメタンガスは、エネルギーとして回収可能であり、有効利用できます。

どんな処理が
できるの？

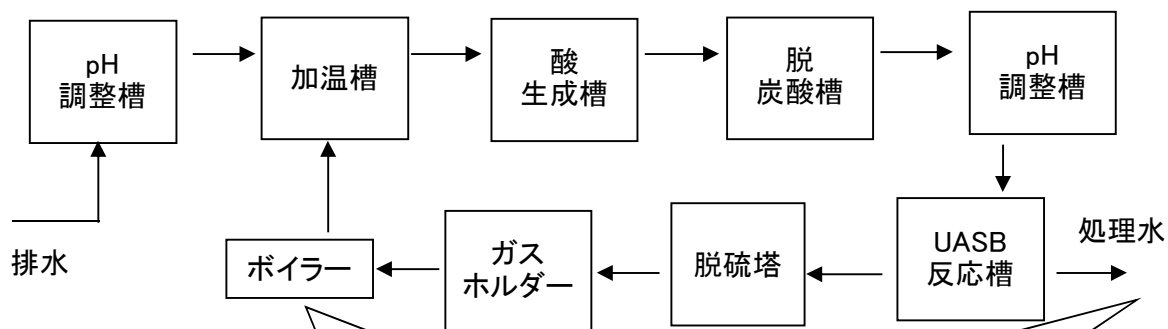
排水中CODcr濃度: 1,000~40,000mg/L の

CODcr容積負荷が10~30 kg/m³・日の高負荷処理が可能であり、
CODcr高濃度排水に対しても威力を発揮します。

処理排水
適用例

- 食品加工排水
- 染色排水
- 繊維工業排水
- 発酵・醸造排水
- 飲料製造排水
- 化学工業排水
- 油脂工業排水
- 製薬工業排水 等

嫌気排水処理装置のフロー例と



発生したメタンガスはボイラーの燃料として使われ、加温槽の蒸気として利用できる！

処理水は既設の処理設備に接続することができ、既設の処理設備の負担を軽減できる！

排水中有機物の約70%がメタンガスに
転換されるため、汚泥発生量が少ない！

日華環工株式会社

北九州市戸畑区中原新町2-1北九州テクノセンター9F

TEL: 093-873-1602 FAX: 093-873-1603 E-mail: jpoffice@nikkae.com